

「学ぶ力」	
実 態	課 題
<p>成 果</p> <p>◇札幌市の共通指標「分からないことがあったときに、友達や先生に聞くようにしている。」で、88.4%と高い数値となっている。主体的な学びを大切にしたい授業づくりを進めてきた成果であると捉える。</p> <p>◇全国学力・学習状況調査「情報の扱い方に関する事項」で、全国平均と比べ+6.1 上回っている。本校の指導指標「みなしろ学びのすすめ」に基付き、学ぶ土台が身に付くように取り組んだり、校内研修の機会を計画的に設けたりしてきた成果であると捉える。</p>	<p>課 題</p> <p>◇札幌市の共通指標「自分で計画を立てて勉強している。」で70.2%、「振り返ったことを、次に生かそうとしている。」で81.8%と、他の設問に比べてやや低い数値となっている。</p> <p>◇札幌市の共通指標「自分で計画を立てて勉強している。」で70.2%、「疑問や課題を解決するために、自分で方法を考えるようにしている。」で80.3%と他の項目と比べて低い数値となっている。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
<p>◇昨年度と比べて、札幌市の共通指標「自分には良いところがある。」で90.9%、「人の役に立つ人間になりたいと思う。」で91.9%と相互承認に関する設問において数値が高い。異学年交流（ポプラ活動）で行う遠足や、休み時間の遊びを企画・運営していることや、取組後の自己評価や子ども同士による他者評価の場を設定していることが自己肯定感の高まりに寄与していると考えられる。引き続き、自分に自信をもてるような場の設定や教師による声掛けが重要となる。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

学びの進捗や成長を自覚し、自ら学びに向かう力

取 組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>◇AAR サイクル「セルフチェック1」の実現～共通指標6,7,8で検証 →疑問や課題を解決する方法を考える場を創出し、学び続けようとする意欲を高めて、自ら動き出せるようにする。</p> <p>◇AAR サイクル「セルフチェック4」の実現～共通指標17,18で検証 →授業の終末に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れて、児童が自らの伸びを実感し、次を考えて振り返ることができるようにする。 →授業と家庭での学習へのつながりを意識した授業の終末の工夫</p>	<p>◇4つのあ（挨拶・遊び・歩き方・後始末）の充実 →特に「後始末」を重視し、授業の終末や行事ごとの振り返りにおける自己評価や他者評価の実施により、自分と他者を見つめる機会の設定</p> <p>◇自分たちの取組を振り返り、次の活動につなげる場の設定 →行事ごとに振り返りカードに記入し、話し合い活動の実施</p> <p>◇主体性を育む場の設定 →「みなしろあいさつステップ」に基づいた委員会活動の実施 →全校朝会での児童挨拶、代表学年による歩き方の模範提示 →「ICTのきまり」を見直し、周知する委員会活動の実施</p>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について		
<p>◇コンピュータ等の情報手段を用いて適切に情報手段を用いて適切に情報を収集・整理・比較・発信できる力の育成を目指す。</p> <p>・ICT機器の基本的な操作の習得・プログラミング的思考の育成・情報モラルの充実</p>		

<本プログラムの実行に向けて>

新年度	【一人一人の教職員】	【学校全体】	次年度△
<p>◇本プログラムの共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページによる発信、懇談等での説明、パートナー校間研修 ・研究全体会 	<p>◇知覚と手だての共有と協働</p> <p>◇日常の授業・教育活動</p> <p>◇各自の研修…札幌教研、専門研修、オンデマンドライブラリー等</p>	<p>◇実践交流・校内研修</p> <p>◇子どもの育ちの共有…日常記録の記入、学年研修、パートナー校</p>	<p>◇学校評価</p> <p>◇成果と課題の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究全体会